

教科・科目（単位数）	農業・総合実習（2単位）	学年	1 年
使用教科書・副教材等	自作プリント 等	集団	11・12HR
科目の目標 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技術	各分野の農業生産において基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用できる。また、生産特性や環境保全について理解している。
②思考・判断・表現	各分野の農業生産について各場面において考えて、判断をできる力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	農業の各分野に関する体験的な学習に興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。
評価方法	座学、実習レポート：記述の内容、確認、分析 授業に取り組む姿勢：行動の観察、確認、分析 基礎的・基本的な知識の理解：定期試験、レポート

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4 5 6 7	・野菜に関する基礎知識 ・緑化材料と樹木管理 ・食品流通の基礎 ・園芸デザイン	野菜の露地圃場・施設野菜の栽培環境を理解する。	○		○
		野菜の種類や野菜栽培の基礎知識について学ぶ。栽培環境(適地適作)を学び、自ら作目を考えられる視点を身に付ける。	○		
		生垣の剪定をとおして、剪定道具や手法について学ぶ。緑地環境の創造や手法を理解させ、深化を育む。	○		○
		流通におけるパソコンの利用方法について理解する。ICTと密接に関わりがあることを理解する。	○	○	
		園芸デザインと草花の装飾的特性について理解する。	○		
9 10 11	・野菜に関する基礎知識 ・造園技術 樹木の利用 ・野菜・果樹など身近な食品について ・草花の生育と栽培技術	秋冬野菜の播種や肥培管理の方法を身に付ける。	○	○	
		秋冬野菜の種類と野菜の栄養価や安全性や有機JASやJGAP等の管理システムを理解する。	○		
		盆栽作りを通して、樹木の利用価値を高める方法を学ぶ。日本の伝統手法を実践し、自宅管理して、探求学習を深める。	○		○
		食品添加物や表示について学び、有機JASと関連づけ、理解する態度を養う。		○	
		草花の生育と栽培技術に関連する技術を身に付け、草花生育に関連する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	○	○	
12 1 2	・野菜に関する基礎知識 ・緑化材料 樹木の利用 ・情報処理の基礎 ・草花とプロジェクト学習	土壌のはたらきと栽培環境の管理方法を理解する。	○	○	
		接ぎ木をとおして、樹木の繁殖方法について学ぶ。植物生産に付加価値を付け、植栽技術を身につける態度を養う。	○	○	
		流通や農業経営で使用する表計算ソフトウェアの操作の基礎理解し、ICTと関連付け、応用できる態度を養う。			○
		草花生産に関連する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。草花生産の知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		○	○

教科・科目（単位数）	農業・総合実習（2単位）	学年	1年
使用教科書・副教材等	自作プリント 等	集団	14・15HR
科目の目標 食と生活の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食と生活の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)食と生活を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)食と生活に関する総合的な課題を発見し、食と生活関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3)食と生活につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、食と生活の向上に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

① 知識・技術	食品科学科・ライフデザイン科に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用できる。また、食と生活に関する基本的知識について理解している。
② 思考・判断・表現	食品科学科・ライフデザイン科に関する各場面において考えて、判断できる力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	農業の各分野に関する体験的な学習に興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。
評価方法	・座学、実習レポート：記述の内容、確認、分析 ・授業に取り組む姿勢：行動の観察、確認 ・基礎的・基本的な知識の理解：定期試験、レポート

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4 5 6 7	食と栄養についての基礎知識 生活についての基礎知識 園芸福祉についての基礎知識	食と栄養の基礎について理解している。	○		
		生活の基礎について理解している。	○		
		園芸福祉の基礎について理解している。	○		
9 10 11 12	食と栄養についての基礎知識 生活についての基礎知識 園芸福祉についての基礎知識	食と栄養について理解し各場面で判断できる。		○	
		生活について理解し各場面で判断できる。		○	
		園芸福祉について理解し各場面で判断できる。		○	
1 2 3	農業クラブ活動を通して科学性・社会性・指導性の向上	意見発表作文が客観的に作成されている。	○		
		意見発表を通して指導性が向上している。	○		
		プロジェクト活動の基本的理念を理解している。			○

教科・科目（単位数）	農業・総合実習（2単位）	学年	1年
使用教科書・副教材等	なし	集団	13HR

科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （１）農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- （２）農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- （３）農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能 （農業科は技術）	・畜産・動物実験に関する技術及び経営と管理について基礎的な知識を身につけている。 ・飼育実習やプロジェクト学習といった研究活動を通して、家畜や実験動物の飼育計画や目標、飼料給与など飼育管理や繁殖管理などの技能を身につけている。
②思考・判断・表現	・畜産・動物実験技術の実践的な役割と、経営や飼育管理を体験的に理解し、経営や飼育管理方法を効果的に改善する見方や考え方を身につけている。
③主体的に学習に取り組む態度	・家畜及び実験動物の総合的な実習を通して経営や飼育管理における技術の役割と、各技術の相互関係を体験的に理解し、経営や飼育管理のより良い改善方法の考察に活用しようとする。

評価方法	・知識・技術の点検、確認、分析(定期試験、小テスト、実験実習プリント、レポート 等) ・記述の点検、確認、分析(実験プリント、レポート、グループワーク 等) ・学習状況の観察、確認(実験レポート、提出物等への取り組み状況、授業への取り組み、当番実習への取り組み 等)
------	---

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	牛舎内外の環境設備や構造を理解している。	○		
		実験動物の安全な保定方法を理解するとともにその必要性を表現することができる。		○	
		実験動物と伴侶動物の違いについて話し合いや意見交換など、意欲的に取り組んでいる。			○
5	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	牛舎の構造や名称を理解している。	○		
		乳牛の呼名、生年月日、系統を理解し、それらの違いについて表現することができる。		○	
		家禽の安全な保定方法を理解し、表現することができる。		○	
6	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	牛体の骨格の名称を理解している。	○		
		日々の動物管理の必要性を理解し、動物管理に対して意欲的に取り組んでいる。			○
		動物の排泄物の循環について理解するとともに、その有用性について表現することができる。			○
7	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	牛体の部位の名称を理解している。	○		
		小動物の安全な保定方法を理解している。	○		
		畜舎にて飼育している動物について理解している。	○		
9	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習	牛体の手入れの必要性を理解し、意欲的に取り組んでいる。			○

10	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	乳牛の生理・生態について理解している。	○		
		実験動物の解剖技術を理解し、身に付けると同時に、その方法や有用性を表現することができる。		○	
		大動物の繋留に使われるロープワークの手法を理解し、表現することができる。		○	
		乾草の種類について理解している。	○		
		配合飼料の種類について理解し、その有用性を表現することができる。		○	
11	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	動物介在活動について理解している。	○		
		動物介在活動について理解し、その有用性を表現することができる。		○	
		動物介在活動について理解し、その活動に意欲的に取り組んでいる。			○
12	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	乳牛の審査について理解している。	○		
		体貌と骨格や肢蹄の見分け方を理解し、表現することができる。		○	
		乳牛の消化器官の特徴について理解している。	○		
1	生産動物分野 ・乳牛に関する総合的な実習 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	乳器の見分け方について理解し、表現することができる。		○	
		中小家畜について理解し、その特徴を表現することができる。	○		
		草食動物の飼養管理について理解し、その活動に意欲的に取り組んでいる。			○
2	学校農業クラブ活動 愛玩動物分野 ・実験動物、伴侶動物に関する総合的な実習	実験動物と現代社会の関りに興味関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。			○
		学校農業クラブ活動について理解し、その活動に意欲的に取り組んでいる。			○

教科・科目（単位数）	農業・農業と環境（４単位）	学年	１年
使用教科書・副教材等	農業と環境（実教 出版）	集団	11・12・13・14・15HR
科目の目標 （１）農業と環境について体系的・統計的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 （２）農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として主体的・合理的にかつ創造的に解決する力を養う。 （３）農業と環境をとおり、持続的かつ安定的な農業と社会の発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

① 知識・技術	・農業生物の育成と環境保全など農業と環境に関する基礎的な知識と技術を身に付けている。 ・作物に興味・関心をもち、課題を合理的に解決する場合にその技術を適切に活用している。
② 思考・判断・表現	・作物や作物を取り巻く環境の基礎的な知識と技術をもとに、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	・作物の育成と環境保全など農業と環境について基礎的な知識と技術を身に付け、作物栽培に意欲的に取り組む姿勢を身に付ける。 ・作物に興味・関心をもち、課題を合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付ける。
評価方法	授業への取り組み(観察・実習)：授業に対する姿勢、学習態度、関心等で判断する。観察・実習に対する姿勢、農具の操作などから評価する。 記録ファイル：授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができていかなどを評価する。（記録ファイル、「スイカの栽培」レポート内容、「秋冬野菜の栽培」レポート内容、「土壌改良の記録」レポート内容） 定期テスト：学習活動にあわせて出題する。

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	・農業と環境を学ぶにあたって ・学校農業クラブ活動	農業や環境は、相互に影響し合う関係にあることを理解させる。農業学習について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。			○
		学校農業クラブ活動について理解し、実施に対する興味・関心と意欲を持つことができ、主体的、協働的に取り組むことができる。			○
5	・スイカの栽培 ・苗の診断と定植 ・生育診断と栽培管理	作物とその栽培に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○		○
		栽培管理や生育の調査を実施するとともに、実施結果をまとめ、文書で表現する力を身につけさせる。		○	
6	・スイカの栽培 ・生育診断と栽培管理	作物とその栽培に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○		○
		栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけさせる。		○	
		生育診断や栽培管理を理解し、生育に適した管理を実践する。鳥獣害防除に対する課題を合理的に判断し解決する能力を身につける。			○

7		る。			
	・スイカの栽培 ・生育診断と栽培 管理	圃場管理や収穫に向けて主体的に取り組むことができる。			○
		栽培管理（収穫）について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけることができる。		○	
9	・播種方法 ・栽培計画の立案 ・圃場準備	作物とその栽培に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○		○
		栽培作物の特徴を理解し、科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけることができる。		○	
10	・生育診断と栽培 管理 ・定植方法	作物とその栽培に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○		○
		栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけることができる。	○		
11		作物の成長に伴う生育診断と栽培管理を理解することができる。		○	
12	・生育診断と栽培 管理 ・収穫	栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけることができる。		○	
		栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につけることができる。		○	
1	・環境の保全・創造 ・天地返しの実施	食と農業，環境と農業，生活に関する基礎的な知識を身につけさせ，農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について理解することができる。	○		
2	・暮らしと農業 ・農業・技術と食 料生産	人間と他の生物との関係，農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について関心を持ち，探求しようとする意欲と態度を身につけることができる。	○		
		食と農業の現状や動向，課題に関心を持たせ，主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身につけさせる。	○		

教科・科目（単位数）	農業・農業と情報（２）	学年	１年
使用教科書・副教材等	農業と情報（実教出版） Excelでまなぶプログラミング（実教出版）	集団	11・12・13・14・15HR
科目の目標 (1) 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

① 知識・技術	・情報化社会のしくみについて、また情報モラルとセキュリティ管理についての知識を身につける。 ・ハードウェア、ソフトウェアの基本的な操作を身につける。
② 思考・判断・表現	・ソフトウェアの操作技術を身につけ、課題に対して適切に利用することができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	・ハードウェア・ソフトウェアの基礎的な操作技術をもとに、演習に意欲的に取り組む姿勢を身につける。
評価方法	① 【知識】テスト（客観テスト・論述テスト）、成果物の評価（レポート、調査のまとめ）、 【技術】実習状況の観察（ハードウェア・ソフトウェアの作業、作業過程、利用技術）、 成果物の評価（作品の評価、データ処理、報告書）、テスト（ハードウェア・ソフトウェアの操作、情報の取り扱い） ② 実習状況の観察、成果物の評価（データ処理、結果や表現の評価、作品評価）、情報や農業に対する意義や役割、責任などに関する設問（テスト法） ③ 実習状況の観察（質問、意見、自己評価）、成果物の評価（データ処理、出力、過程の観察と成果評価）調査法、情報と農業に対する意義や役割、責任などについてテスト

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	私たちの生活と農業の情報化	データと情報、意思決定の過程を理解する		○	○
		情報社会の発展と農業における情報の意義を理解する			
		情報の特徴と性質、メディアの特徴と種類を身につける メディアリテラシーを身につける	○	○	
5	スマート農業への展望	情報社会のモラルを守る心がまえを身につける	○	○	
		情報社会の安全への対応のしかたを身につける			
		農業情報システムの役割を理解する	○	○	
6	社会を支えるコンピュータ	AI やロボットの農業への利用や可能性についての考えを身に付ける		○	○
		ハードウェアとソフトウェアの操作技術を身につける オペレーティングシステムの役割とはたらきについて理解する		○	
		情報社会の脅威と情報管理の重要性を身につける セキュリティ対策を身につける	○	○	

7	アルゴリズムとプログラミング	アルゴリズムとプログラミングの仕組みを理解する			
		プログラミング言語を理解し、目的に沿って記述することができる			
		プログラミングを用いて課題を解決することができる			
9	コミュニケーションと情報デザイン	情報を活用するソフトウェアを理解する		○	○
		文書作成ソフトウェアの操作を身につける		○	○
		文字入力、記号入力、文章入力、記憶媒体への保存と読み込み方法を身につける	○	○	○
		案内文書の作成、書式の設定の操作を身につける			
10	コミュニケーションと情報デザイン	表の作成、挿入の理解、表を含んだ文書の作成を身につける	○	○	○
		印刷プレビュー、印刷の操作を身につける		○	○
		表計算ソフトウェアの特徴と機能を理解する		○	○
11	コミュニケーションと情報デザイン	簡単な表の作成、文字の入力を身につける	○	○	○
		数値の入力を身につける			
		計算式の入力を身につける	○	○	○
		算術演算子の操作を身につける			
		表の保存と読み込み操作を身につける	○	○	○
12	コミュニケーションと情報デザイン	表の編集 1 列幅の変更、文字の表示位置設定を身につける			
		数値の表示形式設定を身につける	○	○	○
		罫線の使い分けを身につける（細線と太線など）	○	○	○
1	コミュニケーションと情報デザイン	表の編集 2 行、列の挿入、削除操作を身につける	○	○	○
		棒グラフ・円グラフの作成操作を身につける		○	○
		その他のグラフ作成操作を身につける		○	○
		プレゼンテーションソフトウェアの特徴と機能を身につける	○	○	
2	コミュニケーションと情報デザイン	スライドの作成について理解する		○	○
		彩度と明度、アニメーション効果について理解する			
		問題解決の方法について理解する		○	○